

地方創生・国スポ・障スポ大会対策特別委員会

- 1 開催日時 令和3年8月23日（月） 10時00分～12時00分
- 2 開催場所 議員室
- 3 説明員 商工観光労働部長および関係職員

4 議事の概要

(1) 自転車観光に係る課題および展望等について

参考人 輪の国びわ湖推進協議会 副会長 稲永 明子 氏

ホテル琵琶レイクオーツカ 支配人 山極 明宏 氏

近江鉄道株式会社鉄道部運輸課 福田 北斗 氏

委員からは、近江鉄道のサイクルトレインについて、JRに乗り入れできる駅から利用できると観光客の利便性が向上するため、色々な制約はあると思うが、曜日限定した利用などの工夫をされてはいかがか、また、一般乗車客の妨げにならないよう、ミニベロタイプの自転車利用を推奨されてはいかがか、県においては、サイクリストの誘客に積極的に取り組む宿泊施設等に資するようなコース案内を行うなどの取組をされたい、輪の国びわ湖推進協議会が実施されているビワイチ認定証の発行について、チェックポイントの増設も含めて、県と連携して行っていただきたい、近江鉄道株式会社におかれては、湖上交通やバスを活用したビワイチなども企画していただき、観光客に滞在してもらえるような取組をしていただきたい、などの意見が出された。

(2) (仮) ビワイチ推進条例の基本的な構成(案)について

委員からは、目的について、自転車利用によるCO₂削減の観点など、環境先進県を標榜する本県ならではの方向性を盛り込んでどうか、条文に歩行者の安全確保についてもわかりやすく表現しないと、県民全体の理解は得られないのではないか、基本理念の例について、コロナ禍後を踏まえて、「国内外の多くの人が安全かつ快適にビワイチを楽しみ」とした方がよいのではないか、責務・役割・連携について、サイクリストの役割も明確にすべきではないか、基本的な施策の推進の例について、スポーツイベントの開催においては、コロナ禍後を見据えて、東京オリンピックの自転車競技で活躍した、強豪国のオランダや国の形が琵琶湖の形と似ていることでも話題のオーストリアなどと連携を行ってどうか、などの意見が出された。



委員会に配付された資料

資料1-(1) 輪の国びわ湖推進協議会の取り組み

資料1-(2) ホテル琵琶レイクオーツカ×ビワイチサイクリング

資料1-(3) 近江鉄道の自転車に関する取り組みについて

資料2 (仮)ビワイチ推進条例の基本的な構成(案)

資料2参考資料 前回委員会(7月13日)の主な意見